

第1回 地方自治体の小規模橋梁向け定期点検技術評価委員会 議事概要

日時：2024年8月8日（木） 15:00-17:00

場所：大阪大学産業科学研究所 第2研究棟共同プロジェクト室（S-109）

オンラインとのハイブリッド会議

参加者：小規模橋梁向け定期点検技術評価委員会 ※オンライン参加

（関西大）鶴田委員長、（近畿道路メンテナンスセンター）青山委員、（大阪市）小松委員※、
（摂津市）黒田委員、（豊能町）坂田委員、（岐阜大）沢田委員※、（神戸大）三木委員

（大阪府）小川委員（欠席）

（大阪大）荒木先生、（株コクリエ）高崎様、（株大日コンサルタント）牧野様、矢島様、後藤様、
（事務局）鶴田、中谷、堀

- 議題：1. 本委員会における検討内容の大前提
2. 本委員会の検討の背景と、向かうべき将来像
3. ガイドライン案
4. 今後のスケジュール

議事概要：

・本委員会は、小規模橋梁の点検について、「ステークホルダーの位置付けの再整理を含めた合理的・効率的な定期点検の手法の検討」や「先端的な技術の活用を視野にいたれたデータ管理の仕組み等」について多面的な検討を行うものであり、大前提として、現在の橋梁点検に関する法体系や政府の審議会で示された方向性に沿って検討を行うことの認識合わせをした。

・検討の背景に関し、自治体の橋梁点検に関わる人手の不足、現行の点検手法を変更することで国の補助金が受けられなくなる不安があげられた。

・「自治体の小規模橋梁を対象とした橋梁基本定期点検導入に係るガイドライン（案）」について内容を確認した。今後の検討として、対象橋梁を広げることも検討の余地ありとの意見があがった。

・点検内容を記録するチェックシートに関して、技術的助言で求められている項目を網羅していることの確認、写真の残し方やチェック項目の優先順位に関して議論があった。チェックシートの課題抽出は今後予定している実証実験にて行うこととした。